

亀岡市の

ごみの分け方・ 出し方

保存版

平成30年11月改訂



ごみ減量マスコット「クーリン」

循環型社会の実現をめざして 3Rの実践を！

- Reduce (リデュース) = 発生抑制
- Reuse (リユース) = 再使用
- Recycle (リサイクル) = 再生利用



ごみを処分するには、多くの費用が必要です（下記実績参照）。ごみの排出量を減らすことができれば、その分の経費を他の公共サービスや公共事業にまわすことができます。いま一度、日々の生活スタイルや消費行動を見直し、ごみの減量や資源化にご協力をお願いします。

燃やすごみ
…3袋

埋立てごみ
…4袋

資源ごみ
…5袋

粗大ごみ
…11袋

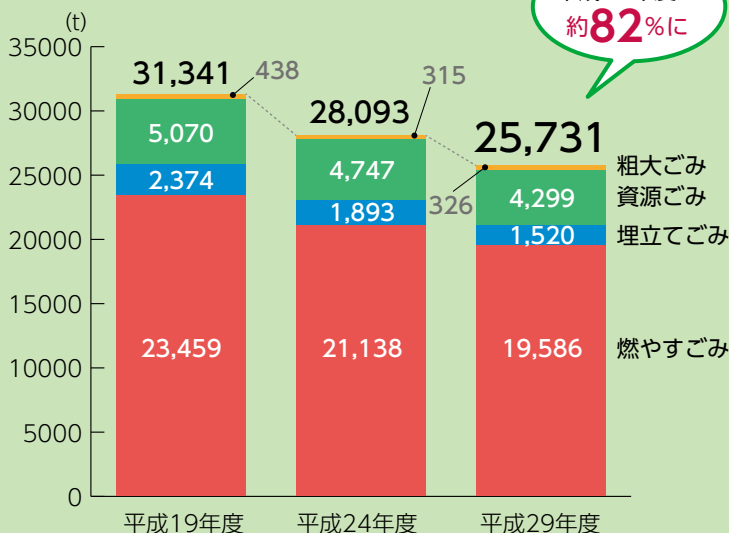
指定ごみ袋・
料金シール
取扱店
…13袋

自己搬入
するもの
…14袋

リサイクル
対象品
…15袋

◎亀岡市のごみ処理量の推移

※資源ごみ量は、地域の集団回収量を含んでいます。



平成19年度の
約82%に

平成29年度の実績

1人が1日に出したごみの量にすると
…約788g

※全国平均925g (平成28年度環境省実態調査結果)

ごみ処理費用 (ランニングコスト)
…9億3,100万円

※建設費等は含みません

市民1人あたりの年間負担額
…約10,420円

※ランニングコストを市人口(平成30年4月1日)で除した額